

## 大学院シラバスの指定科目単位認定申請手順

2022年度より、郵送による申請方法を廃止し、オンライン申請に変更します。  
それに伴い、申請書類の様式も変更になりました。  
下記説明をお読みの上、機構ウェブサイトより申請してください。

旧制度によるシラバス認定は、2019年度をもって終了しました。  
過去に旧制度で認定された科目と同じシラバスの科目を2022年度に申請する場合は、現行制度の認定基準を用いて審査をし直します。

- 1) シラバスの指定科目単位認定申請は、授業担当教員から個別に提出されたものは受付できません。大学院研究科で取りまとめ、機構ウェブサイトより申請してください。
- 2) 申請書類について
  - 2021年度までの様式1は書類が廃止となり、申請フォーム上で直接入力していただくことになりました。
  - 様式1～6(旧様式2～7)は臨床発達心理士認定運営機構のWebサイトからデータをダウンロードしたものをお使いください。<https://www.jocdp.jp/other/syllabus/>

### 様式1 申請科目一覧表：Excelファイルのまま提出

- ・ 申請される科目を一覧表にまとめて記入します。記入内容、方法は以下の記入例を参考にしてください。
- ・ 新規申請科目は、**様式1-1**を使用し、単位認定済科目の認定年度をかえて申請する場合は、**様式1-2**を使用します。担当者、授業内容、授業計画(シラバス)の記載に変更・修正がある場合は同一科目としてはみなしませので、新規申請科目として申請してください。
- ・ 指定科目の単位認定は、大学院での開講科目ごとに行われます。2つ以上の科目を合算して、認定を受けることはできません。2つ以上の科目の合算に関する申請ガイドの説明は個人の申請の場合であり、今回のシラバス指定科目認定申請には該当しませんので注意してください。
- ・ 申請科目一覧表に記載された内容がそのまま認定されますので、くれぐれも間違いのないように記入してください。提出前に、シラバスの科目名、担当者名等と完全に内容と一致しているか、必ずご確認ください。特に科目名は、申請者の成績証明書に記載の科目名と副題や記号(A, B, I, IIなど)も含め一致していることが重要です。もしシラバス記載の科目名と異なる場合は、その旨を説明する文書を提出してください。
- ・ 単位認定済科目を認定年度をかえて申請する場合(同一担当者・同一シラバス)は、様式2～6を提出する必要はありません。代わりに単位認定済科目のシラバスのPDFと、新たに申請する年度のシラバスのPDFを提出してください。

**様式1-1 新規申請科目一覧表記入例**

	科目	分野	開講年度	講義名	担当者名	授業単位数	申請単位数
①	基礎		2021	〇〇〇	A田A子	4	4
②	専門性		2022	×××	B山B男	4	4
③	認知	発達の基礎	2022	◇◇◇	C川C美	4	2
④	社会・情動	発達の基礎	2022	◎◎◎	D沢D代 E本E介	2	2
⑤	言語	発達の基礎	2020	△△△	F木F恵	2	2
	認知	発達の基礎	2022	△△△	F木F恵	2	2
⑥	認知	発達の基礎/ 支援	2022	▼▼▼	G谷G郎	2	1/1

- ① 科目-基礎については、分野は記入なし。
- ② 科目-専門性については、分野は記入なし。
- ③ 科目-認知、社会・情動、言語については、発達の基礎/支援のどちらであるかを記入。
- ④ 担当者名は担当する教員をすべて記入。
- ⑤ 同じ内容の開講科目（同一担当者・同一シラバス）で年度が異なる場合（これまでに単位認定済科目となっていない場合）は、年度ごとにそれぞれ書類を整え申請してください。
- ⑥ 1つの科目を複数の分野にまたがって申請する場合（▼▼▼という科目（2単位）を認知の発達の基礎と支援に1単位ずつ分けて申請する場合）は、申請単位数を1/1と記入してください。

**様式1-2 単位認定済申請科目一覧表記入上の注意**

認定番号	科目	分野	開講年度	講義名	担当者名	授業単位数	申請単位数
⑦	言語	支援	⑧	□□□	H口H之	2	2

- ⑦ 「指定科目単位認定大学別一覧」にある認定番号を記入。
- ⑧ 申請科目の開講年度を記入。単位認定済科目の認定年度ではありません。

**様式2～様式6 科目内容基準とシラバス内容の対応表：WordをPDFにして提出**  
 〈昨年度からの変更点〉

- ・「シラバスの授業回と文言」欄には大学院のシラバスの授業回とその文言を記入し、「内容」欄には授業で取り扱う内容に該当する用語を選び、チェック欄にチェックを入れてください。
- ・シラバスの授業回の文言と「項目」が完全に一致している場合は、「シラバスの授業回と文言」欄のみ記入し、「内容」欄にチェックを入れなくても構いません。
- ・シラバスの文言が「文献講読」のみであるなど、審査者が授業内容をイメージできないシラバスは認定できない可能性が高いため、そのような科目は避けていただくか、1回ごとに副題をつけるなどのご配慮をお願い致します。
- ・科目担当者名の署名・捺印欄は廃止となりました。

項目	シラバスの授業回と文言	内容	
		(授業で取り扱うものにチェックを入れてください)	
1. 生涯発達と臨床発達心理学	第2回 発達の諸理論	<input checked="" type="checkbox"/> 発達心理学の歴史	<input type="checkbox"/> 臨床発達心理学
		<input checked="" type="checkbox"/> 発達の視点	<input type="checkbox"/> 発達障害のとりえ方
		<input checked="" type="checkbox"/> 個体と環境の相互作用	<input type="checkbox"/> 発達の世代間関係
2. 発達のとりえ方	第1回 発達のとりえ方	<input type="checkbox"/> 発達段階	<input type="checkbox"/> 発達の連続・非連続
		<input type="checkbox"/> 質的発達と量的発達	<input type="checkbox"/> 発達の生物学的基礎

〈これまでと同様のお願い〉

- ・ 開講科目毎に作成してください。2つ以上の科目を合算して、認定を受けることはできません。
- ・ 科目内容基準に記載された「項目」は、1回の授業につき1項目のみ含めることができます。同一シラバス内で、1回の授業において2項目以上を含めることはできません。
- ・ 申請単位は、授業科目の単位数を超えることはできません。
- ・ 科目内容基準（項目）が含まれる割合によって、申請できる単位数が決まりますので、項目の該当数および割合をよく確認してください。申請できる単位数についての詳細は、「2021年度版-臨床発達心理士認定申請ガイド」をご覧ください。2021年度版ガイドは機構Webサイトからダウンロードできます。
- ・ 旧制度による単位認定済み科目と同一担当者、同一シラバスの科目についても、あらためて現行制度による単位認定審査を受ける必要があるため、様式2～6を提出してください。

**申請科目のシラバス：PDFを提出**

- ・ 新規申請科目は、申請する科目の開講年度のシラバスを提出してください。
- ・ 単位認定済申請科目は、単位認定済みの年度のシラバスと新たに申請する年度のシラバスを提出してください。なお、単位認定済みの年度のシラバスには、認定番号を明記してください。
- ・ シラバスには、大学院研究科名、開講年度、正確な講義名、科目担当者名、単位数が記載されている必要があります。これら認定に必要な情報がシラバスに記載されていない場合は、それらを証明する書類を別途添付してください。
- ・ 対応表（様式2～6）のシラバスの文言に記載した箇所を、添付したシラバス上に明示してください（マーカーで記す等）。

3) 電子データについて

- 申請書類のファイルは、1つのZIPファイルに圧縮してアップロードを行ってください。
- 様式1-1および1-2は、Excelファイルのまま、様式2～6およびシラバスはそれぞれPDFにしてご提出ください。
- 電子データは、様式・科目ごとにファイルを分けて作成してください。ファイル名の付け方は、以下を参考にしてください。『 』は不要です。下線部は書き換えてください。  
『様式1-1(2022) 大学院名 研究科名』  
『様式1-2(2022) 大学院名 研究科名』  
『様式1-2(2021) 科目名のシラバス』 ※単位認定済み科目のシラバス  
『様式1-2(2022) 科目名のシラバス』 ※新たに認定を受ける年度の科目のシラバス  
『様式2「基礎」(2022) 科目名』 ※項目とシラバス内容の対応表  
『様式2「基礎」(2022) 科目名のシラバス』  
『様式3「専門性」(2022) 科目名』  
『様式3「専門性」(2022) 科目名のシラバス』  
『様式4「認知」(2022) 科目名』  
『様式4「認知」(2022) 科目名のシラバス』  
『様式5「社会・情動」(2022) 科目名』  
『様式5「社会・情動」(2022) 科目名のシラバス』  
『様式6「言語」(2022) 科目名』  
『様式6「言語」(2022) 科目名のシラバス』